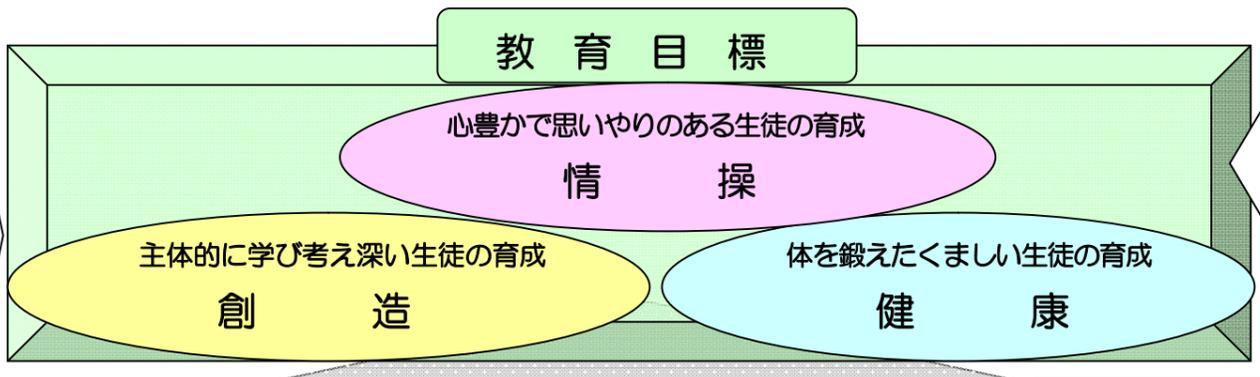
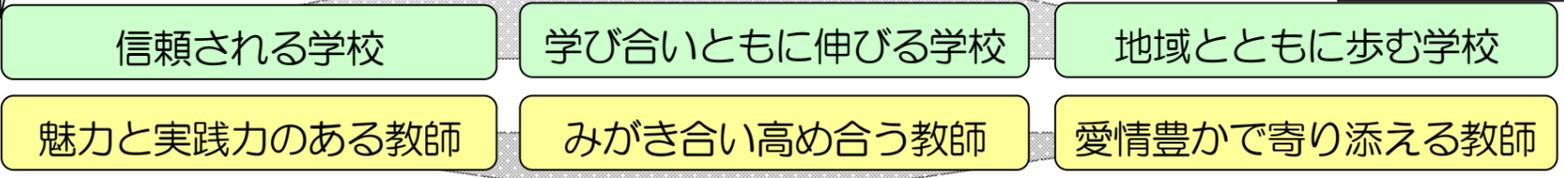


令和4年度 学校経営全体構想

- ・日本国憲法
- ・教育基本法
- ・学校教育法
- ・学習指導要領
- 〈県の計画・方針〉
- ・栃木県教育振興計画 2025
- ・いきいき栃木っ子3あい運動
- 〈市の計画・方針〉
- ・第2次市教育推進計画
- ・学校教育スタンダード
- ・元気っ子プロジェクト
- ・部活動推進計画
- ・学校教育食育行動計画
- ・小中一貫
- (宮っ子心の教育)
- (宮・未来キャリア教育)
- (元気アップ教育)



- 〈生徒の実態〉
- ・全国学力学習状況調査
 - ・学習内容定着度調査
 - ・とちぎっ子学習状況調査
 - ・生活と学習に関する調査
 - ・うつのみや元気っ子健康体力チェック
 - ・学校評価
 - ・教師の思い
 - ・保護者、地域の願い
 - ・社会の動向



学校経営の方針

- 1 確かな学力の育成を図り、生徒が自信や志をもち、主体的にいきいきと学べる学校づくりに努める。
- 2 豊かな心とたくましい体の育成を目指し、基本的な生活習慣の確立と規範意識の醸成、人を思いやる心と人権を尊重する心の育成、及び健康で安全な学校生活の実現に努める。
- 3 信頼される学校・学び合いともに伸びる学校・地域とともに歩む学校を目指し、家庭や地域との連携・協力を深めながら、創意ある教育活動に努める。
- 4 教職員が互いに学び、高め合う協働的な同僚性の育成と専門的資質・能力の向上を図るとともに、業務改善の推進により勤務意欲の向上に努める。
- 5 地域学校園としての「目指す生徒像」の共有を図り、小学校・中学校が連携して地域の教育力を生かした教育活動を推進する。

《 重点とする取組 》

夢や希望に向かって挑戦する、たくましい生徒の育成

- (1) 自己を見つめ、自己の生き方の確立をめざしたキャリア教育・進路指導の充実
(学級活動における進路選択能力の育成、保護者の啓発、進路相談の充実、宮っ子チャレンジウィークの効果的実施、職業人から学ぶ機会の充実)
- (2) 生徒一人ひとりの良さが発揮できる特別活動の実践と、良さを認め、励まし、称賛して自己肯定感・自己有用感を高める指導の充実
(豊かな体験に基づく良き校風を培う学校行事、自発的・自治的な生徒会活動、認め合い協力し合い高め合う学級活動、地域ボランティア活動の推進)
- (3) 自己の能力を最大限に発揮できる特別支援教育の推進
(自分は大切な存在と実感できる学級経営の推進、校内研修・校内支援委員会の活性化、家庭や関係機関との連携)

確かな学力の育成

- ア 基礎・基本の確実な定着と「わかる、できる」を実感させる授業の工夫 (ねらいの明確化と振り返り活動の充実、長期休業・放課後等の学習支援)
- イ 「主体的・対話的で深い学び」の視点での指導法や学習形態の工夫による思考力・判断力・表現力及び主体的に学習に取り組む態度の育成
- ウ チームティーチング、少人数学習等の充実、かがやきルームの活用と充実
- エ 家庭学習の充実と習慣化 (家庭学習ノートの活用と確認)
- オ ICT活用の促進による「主体的・対話的で深い学び」の実現

たくましい体の育成

- ア 自ら意欲的に運動に取組み、体力向上を図る指導の充実 (体育授業での体力増強、雀中そーらん等の学校行事、学年行事の工夫、地域学校園内検定カードの共有化)
- イ 発達段階に応じた保健教育・性教育の充実 (教科、学級活動等の時間での取組、歯みがき指導の推進)
- ウ 食に関する指導の充実と望ましい食習慣の育成 (栄養教諭の授業、食に関するアンケート、小中連携したお弁当の日の計画的実施、食育ファイルの活用)
- エ 耐性 (我慢する、あきらめない、くじけない) を育む指導の充実

豊かな心の育成

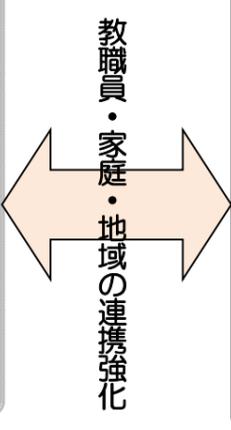
- ア 道徳教育に関する指導力向上をめざした研修の推進 (「特別の教科 道徳」の実施 (指導内容・方法・評価の工夫))
- イ 豊かな心をはぐくむ読書活動の充実 (図書ボランティアの活用、朝の読書の充実、ブックトークの実施)
- ウ スクールカウンセラーやメンタルポーターとの連携を密にした教育相談の充実 (教育相談年3回実施と「相談室だより」の発行)
- エ 人権感覚を育てる啓発活動の充実 (人権意識を高めるための校内環境整備の推進、全生徒による人権作文)
- オ 人権感覚を練磨する校内研修の推進
- カ 生徒の情操を育てる校内環境の充実

規範意識の醸成

- ア 基本的な生活習慣を身に付けさせる指導の充実 (小中連携したあいさつ運動の計画的実施、身だしなみの指導の定期的な実施、地域学校園生活スタンダードの検討)
- イ いじめ、不登校への予防的対応の充実 (実態調査の実施と全校体制での取組、認め合い助け合う集団づくり、支援を要する生徒の早期発見・早期対応、小学校との連携強化)
- ウ 生徒の良さを認め、尊重し、自己肯定感を高める指導の実践 (対話を通して考えを伝え合う授業実践、「Q-U」の有効活用)

プラス思考で動く教職員

- (1) 学年・学校組織を生かした臨機応変な協力体制の確立
- (2) 専門職としての自己研修の推進 (「ミニ研究授業」の改善、各種研修会の伝達研修)
- (3) 行動規範の意識化と遵守 (・倫理感の高揚 ・人権感覚の練磨 ・自己、相互研鑽 ・好ましい人間関係の醸成 ・保護者、地域との連携)
- (4) プラスワンの発想での建設的な提案と実践
- (5) 互いに学び合い、高め合う協働的な同僚性の育成 (相互授業参観・職員研修の充実、OJTの推進)
- (6) 業務改善の推進 (校内業務の効率化と勤務時間の適正管理)



家庭・地域とともに歩む学校

- (1) 情報の積極的な発信と連携 (各種たよりの定期的な発行、ホームページの充実、学校マネジメントシステムの活用)
- (2) 地域の多様な教育力の活用の推進 (学校支援ボランティアの協力活動の推進、地域関係機関・団体との連携充実)
- (3) 魅力ある学校づくり地域協議会の活動推進 (年間計画の改善や活動の評価と活用)
- (4) 地域学校園内の小学校との連携による地域行事やボランティア活動への参加啓発
- (5) 「宇都宮学」の実践による郷土愛の育成